

〔省令第8条の4の5（1,000トン以上排出事業者用）〕

様式第2号の8（第8条の4の5関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7 年 6 月 17 日	
（宛先）長野市長	荻原 健司
提出者	
住 所	長野市安茂里小市1－3－31
氏 名	高木建設株式会社
	代表取締役社長 高木 亜矢子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号	026－226－6061
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	高木建設株式会社
事業場の所在地	長野市安茂里小市1－3－31
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 4,540,231 千円
③ 従業員数	89名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	<p>産業廃棄物の発生→収集運搬→中間処理（委託処理）→再資源化</p> <p>産業廃棄物の発生→収集運搬→中間処理（委託処理）→最終処分</p> <p>産業廃棄物の発生→収集運搬→最終処分</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	排 出 量					
	産業廃棄物の種類					
	排 出 量					
	（これまでに実施した取組） ・ 施工計画段階において産業廃棄物の発生抑制を考慮して工法・資材等を検討 ・ 梱包材の簡素化					
②計画	【目標】 別紙のとおり					
	産業廃棄物の種類					
	排 出 量					
	産業廃棄物の種類					
	排 出 量					
	（今後実施する予定の取組） ・ 施工計画段階において産業廃棄物の発生抑制を考慮して工法・資材等を検討 ・ 梱包材の簡素化 ・ 発生抑制のための情報収集					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃石膏ボード、がれき類、石綿含有産業廃棄物等について産業廃棄物置場を設けて保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、廃石膏ボード、がれき類、石綿含有産業廃棄物等について産業廃棄物置場を設けて保管する。 ・ 分別保管について情報収集、教育研修

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	排 出 量	2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	廃石綿等	廃油
	排 出 量	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t	
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉱さい			
	排 出 量	0.11t	0.17t				
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	排 出 量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理	石綿含有産業廃棄物	廃石綿等	廃油
	排 出 量		5.00t	3.00t	8.00t		
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鉱さい			
	排 出 量						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし。						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産 業 廃 棄 物 の 種 類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 っ た 産 業 廃 棄 物 の 量						
	産 業 廃 棄 物 の 種 類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 っ た 産 業 廃 棄 物 の 量						
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない。						
②計画	【目標】						
	産 業 廃 棄 物 の 種 類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う 産 業 廃 棄 物 の 量						
	産 業 廃 棄 物 の 種 類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行 う 産 業 廃 棄 物 の 量						
	（今後実施する予定の取組） ・ 実施の予定なし。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度（令和　6　年度）実績】	別紙のとおり							
①現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t	
	優良認定処理業者への 処理委託量								
	再生利用業者への 処理委託量								
	認定熱回収業者への 処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量		0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t		
	優良認定処理業者への 処理委託量								
	再生利用業者への 処理委託量								
	認定熱回収業者への 処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量								
	(これまでに実施した取組)								
	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、適正な委託契約を締結している。								
	・マニフェスト伝票の管理を徹底している。								
	・可能な限り優良認定処理業者に委託するようにしている。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	紙くず	木くず
全処理委託量	2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t
優良認定処理業者への処理委託量	71.19t	27.45t	68.44t	31.17t	28.14t	80.80t
再生利用業者への処理委託量	2,091.01t	17.85t	25.35t	31.30t	18.72t	115.27t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			0.11t			17.31t
産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	廃油
全処理委託量	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.07t		3.12t		0.60t	
再生利用業者への処理委託量		7.53t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鋳さい			
全処理委託量	0.11t	0.17t				
優良認定処理業者への処理委託量		0.17t				
再生利用業者への処理委託量	0.11t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						

①現状

【目標】 別紙のとおり

産業廃棄物の種類						
全処理委託量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類						
全処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

(今後実施する予定の取組)

- ・電子マニフェストの活用を進める。
- ・優良認定処理業者への処理委託量を進める。
- ・委託先の処理業者の現地確認を実施する。

②計画

※事務処理欄

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	紙くず	木くず
	全処理委託量	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t
	再生利用業者への処理委託量	2,000.00t	20.00t	30.00t	30.00t	25.00t	150.00t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量			1.00t			20.00t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	汚泥(上・下水、建設、その他)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	廃油
	全処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
	優良認定処理業者への処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
	再生利用業者への処理委託量		5.00t	3.00t	8.00t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品廃棄物	燃え殻	鋳さい			
	全処理委託量						
	優良認定処理業者への処理委託量						
	再生利用業者への処理委託量						
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項			産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）															合 計
			がれき 類(コン クリが ら 廃	ガラ ス・コ ンク ー	廃プラ スチック(廃 タ イヤ	金属く ず	紙くず	木くず	繊維く ず	汚泥 (上・下 水、建 設 廃	建設混 合廃棄 物(安定 型 等	石綿含 有産業 廃棄物	廃石綿 等	廃油	水銀使 用製品 廃棄物	燃え殻	鋳さい	
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)		2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t		0.11t	0.17t		2,493.19t
	本年度排出量(計画)		2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t						2,306.00t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績																	
	本年度計画(目標)																	
自ら行う (行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
自ら行う(行った)埋立 処分又は海洋投入処分 に関する事項	前年度実績																	
	本年度計画(目標)																	
処理の委託に 関する事項	全処理委託量	前年度実績	2,148.58t	28.62t	68.45t	31.30t	28.14t	165.26t	0.07t	7.53t	3.72t	10.64t	0.60t		0.11t	0.17t		2,493.19t
		本年度計画(目標)	2,000.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t						2,306.00t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	71.19t	27.45t	68.44t	31.17t	28.14t	80.80t	0.07t		3.12t		0.60t			0.17t		311.15t
		本年度計画(目標)	100.00t	25.00t	60.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t						406.00t
	再生利用業者 への処理委託量	前年度実績	2,091.01t	17.85t	25.35t	31.30t	18.72t	115.27t		7.53t					0.11t			2,307.14t
		本年度計画(目標)	2,000.00t	20.00t	30.00t	30.00t	25.00t	150.00t		5.00t	3.00t	8.00t						2,271.00t
	認定熱回収業者 への処理委託量	前年度実績																
		本年度計画(目標)																
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績			0.11t			17.31t										17.42t
		本年度計画(目標)			1.00t			20.00t										21.00t

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。